

第8回 大規模災害セミナー
『海溝型巨大地震津波発生メカニズムに迫る』

議 事 次 第

- ・ セミナー名：第8回 大規模災害セミナー
『海溝型巨大地震津波発生メカニズムに迫る』
- ・ 日 時：平成27年1月28日(水) 13:30~16:30
- ・ 場 所：大阪国際交流センター 小ホール
(〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6)
- ・ 共 催：特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) 及び「国難」プロジェクト (平成26年度科学研究費補助金 基盤研究 (S)：研究代表者：河田恵昭)
- ・ 内 容：

独立行政法人 海洋研究開発機構は、国の地震調査委員会ですぐに発生確率が70%程度とされている東南海地震の震源域にあたる紀伊半島沖熊野灘において、稠密かつ高精度に地震や津波等のリアルタイム観測を行うため、当該海域の水深約1,900m~4,300mの海底に、地震計・水圧計(津波を観測)を備えた海底ケーブルネットワーク型観測システム「地震・津波観測監視システム (DONET)」の設置及び試験運用を行っている。このシステムは、東南海地震の震源域近傍の海域で発生した地震を、陸上観測点と比べ最大十数秒早く検知することが可能で、現在、気象庁において観測データを緊急地震速報等に活用するための準備が進められている。本システムの観測データは、東海・東南海・南海など複数の領域が連動して発生する巨大地震発生メカニズムに関する研究等にも活用されることになっている。

そこで、南海トラフ巨大地震に関する最新の研究について学び、各種地震津波防災対策に資することとする。

また、本セミナーによる学習を経た後、地球深部探査船「ちきゅう」の乗船視察を計画中。

【プログラム】(敬称略)

13:30 開場・受付開始

14:00 開会挨拶 (CDR 理事長：河田恵昭)

14:10~15:10 (15:10~15:20 質疑)

講義①『「地震・津波観測監視システム (DONET)」の概要と先進的地震津波シミュレーションの進捗について』

講師：金田義行氏 (名古屋大学減災連携研究センター／特任教授)

15:20~15:30 休憩

15:30~16:30 (16:30~16:40 質疑)

講義②『掘削研究に見る東北地方太平洋沖地震と南海トラフ巨大地震のメカニズムについて』

講師：倉本真一氏

((独) 海洋研究開発機構 地球深部探査センター／センター長代理)

16:40 閉会